

# VII

## 専門教育 健康情報学科について





## 1. 健康情報学科とは

<健康分野において新たな価値やサービスの創出に貢献できるデータサイエンティストの育成>

日常生活のあらゆる場面で登場する情報システム。情報システムは私たちの生活を支えています。健康分野をはじめとして、あらゆる業種でネットワークやデータベース、デジタルコンテンツなどの知識・技術をもった人材が求められています。情報システムの仕組みを理解し、数理・データサイエンス・AIの手法を駆使して保健・医療・福祉などを含む健康分野と社会全般に関するデータを分析することで、新たな価値やサービスの創出に貢献できる人材（データサイエンティスト、例えば、電子カルテに蓄積されたビッグデータを解析できる技術を備えた診療情報管理士等）を育成します。

## 2. 卒業認定・学位授与方針（DP：ディプロマ・ポリシー）

健康情報学科は、以下の能力を身につけた学生に学士（健康情報学）の学位を授与します。

- ① 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性
- ② 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力
- ③ 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力
- ④ 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力
- ⑤ コンピュータ理論・装置・ソフトウェアの基礎を学んだ上で情報システムの設計・開発ができる力
- ⑥ 数学、統計、情報、データサイエンスの基礎知識・技能を獲得した上で、社会の様々な課題をデータサイエンス・AIを駆使して解決できる力
- ⑦ 保健・医療・福祉を総合的に理解した上で、医療機関や日常生活で発生する多様なデータを適切に収集・蓄積・分析する力

## 3. 教育課程

健康情報学科の教育課程は、大きく「教養教育科目」と「専門教育科目」に分けられ、これらの科目はさらに小さく区分されています。そのうち健康情報学科の「専門教育科目」は、「専門基礎科目」、「専門発展科目」、「専門応用科目」、「専門総合科目」の4つの専門分野に分けられています。

- ◇ 「専門基礎科目」…保健・医療・福祉を総合的に理解する科目に加え、数学、統計、情報、データサイエンスの基礎知識・技能を獲得することを目的としています。
- ◇ 「専門発展科目」…専門性を深めるため、情報科学、データサイエンス、ヘルスデータの3分野から構成されています。
- ◇ 「専門応用科目」…健康分野におけるデータ活用だけでなく、人間の社会行動、マーケティング、経営分野におけるデータ活用を学ぶ専門応用科目群を設定しています。

◇ 「専門総合科目」…専門教育で学んだ知識・スキルを社会の実践の場で活用し、課題発見・課題解決する力を身につけるため、専門総合科目を置いています。具体的には、3年次を対象とした「病院実務Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」や「健康情報演習Ⅰ・Ⅱ（PBL）」を選択必修とするとともに、4年次の一年間を通して卒業研究を完成させる演習科目を必修とし、最終評価（卒業研究評価等）を行います。

### 健康情報学科 専門教育課程

区分	専門基礎科目		専門発展科目			専門応用科目	専門総合科目
	年次	学期	数学・情報・データサイエンス	保健・医療・福祉	情報科学		
4	後						健康情報専門演習Ⅱ
	前					経営分析論	健康情報専門演習Ⅰ 健康情報特別講義Ⅱ
3	後			産業情報論	医療・生命情報学Ⅱ 画像処理 人工知能 パターン認識 自然言語処理	デジタルヘルスイノベーション	健康情報特別講義Ⅰ 健康情報演習Ⅱ (PBL)
	前		体力・健康測定と評価	システム設計論 データベース演習 インターネットと法 ネットワーク技術Ⅱ システム開発技術 (IoT) 経営情報論 情報セキュリティ	医療・生命情報学Ⅰ	臨床医学各論Ⅲ 臨床医学各論Ⅳ 国際統計分類Ⅱ デジタルヘルステクノロジー	地域マーケティング論 病院実務Ⅱ 病院実務Ⅲ 健康情報演習Ⅰ (PBL)
2	後	データベース基礎	公衆衛生学 疫学 食育と健康	プログラミング応用演習 情報処理論 ネットワーク技術Ⅰ ネットワークの構築と運用 ウェブコンテンツ実践	健康情報統計Ⅲ 健康情報数学Ⅲ AI・データサイエンスⅡ	臨床医学各論Ⅰ 臨床医学各論Ⅱ 診療情報管理論Ⅱ 国際統計分類Ⅰ 健康ビッグデータ デジタルヘルスコミュニケーション 医療統計学	経営統計学 市場調査論
	前	国際ネットワーク論	保健医療情報学 社会福祉概論 栄養学	プログラミング応用 アルゴリズム論 データ処理入門 情報化社会論 ウェブデザイン 情報と職業	健康情報統計Ⅱ 健康情報数学Ⅱ 社会調査法 AI・データサイエンスⅠ	臨床医学総論及び 医療用語 診療情報管理論Ⅰ 医療管理各論	社会心理学 観光行動論 マーケティング論 会計学原理 経営戦略論 病院実務Ⅰ
1	後	健康情報統計Ⅰ データサイエンス概論 コンピュータ概論 プログラミング基礎 コンピュータグラフィック	医療概論及び人体構造・機能 医療管理総論				
	前	健康情報数学Ⅰ	ウェルネス概論				簿記原理

※開講時期（前期・後期）は変わる場合があります。（2022年11月の情報をもとに作成）。履修計画や履修登録時には、各年度の時間割表を確認すること。

※□で囲まれた科目は、健康情報学科必修科目です。

## 4. 中間評価の実施

健康情報学科では、卒業時に身につけるべき学力、つまり「卒業認定・学位授与方針（DP：ディプロマ・ポリシー）」で明示した学力を段階的に身につけてもらうため、全ての学生を対象として、2年次修了時に中間評価を行います。3年次の履修指導において、その評価結果を学生ヘフィードバックし、卒業までの2年間の学習目標・計画の改善に役立てます。なお、中間評価は、教養教育ならびに専門基礎教育の成果について、その達成度を評価する予定ですが、その内容と方法については、2年次開始時に周知します。

## 授業科目の区分と卒業に必要な単位数

健康情報学科が開設する授業科目は、大きく「教養教育科目」と「専門教育科目」に分けられ、これらの科目はさらに小さく区分されています。卒業するためには、合計で124単位が必要ですが、それぞれの科目区分で取らなければならない「必修科目や単位数」があり、このルールを守らなければ卒業することはできません。

なお、「自由選択科目」には、それぞれの科目区分からとるべき単位数を超えて修得した単位と、教職3科目（情報科教育法Ⅰ、情報科教育法Ⅱ、高等学校教育実習）がカウントされます。

### 1. 卒業に必要な単位数

科目区分		必修	選択	卒業要件単位	小計	
教養教育科目	共通コア科目	アカデミックスキル	10	0	10単位以上	32単位以上
		ライフデザイン	2	0	2単位以上	
		思想と論理	0	2	2単位以上	
		沖縄理解科目	0	2	2単位以上	
		健康スポーツ	0	2	2単位以上	
	共通選択科目	外国語	6	0	6単位以上	
		国際理解	0	2	2単位以上	
		人文科学	0	2	2単位以上	
		社会科学	0	2	2単位以上	
		自然科学	2	0	2単位以上	
専門教育科目	専門基礎教育科目	16	4	20単位以上	72単位以上	
	専門発展科目	0	30	30単位以上		
	専門応用科目	0	8	8単位以上		
	専門総合科目	8	6	14単位以上		
自由選択科目		0	20	20単位以上	20単位以上	
合計		44	80	124単位以上		

## 2. 1つの学期に登録できる単位数

1つの学期で登録できる単位の上限は20単位です。ただし、健康情報学科では、次の場合は20単位を超えて登録することができます。

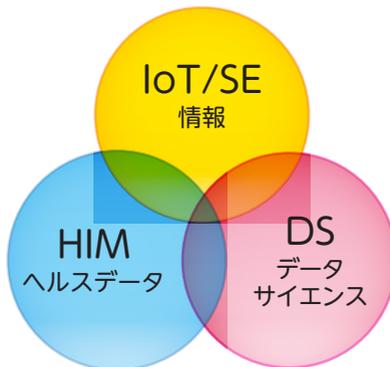
- ◆ 体育実技（1単位に限り）※『体育実技Ⅰ』と『体育実技Ⅱ』を同時に履修することはできません。
- ◆ 集中講義及び教職に関する科目  
※教職に関する科目はp233の別表9及び別途配布される『教職課程の手引き』も参考にすること。

### 健康情報学科履修モデル

健康情報学科では、卒業に必要な科目についての理解を促し、学生が主体性を持って4年間の履修計画が立てられるように、3つの履修モデルを作成しています。各自で主に学びたい分野の履修モデルを参考に、4年間の履修計画を立てください。

### 健康情報学科の3つの履修モデル

- ① IoT/SE（情報）  
コンピュータ理論・装置・ソフトウェアの基礎を学んだ上で情報システムの設計・開発のためのスキルを身につけます。
- ② DS（データサイエンス）  
社会の様々な課題をデータサイエンス・AIを駆使して解決できるよう統計的な解釈とコンピュータ科学による検証方法を中心に学びます。
- ③ HIM（ヘルスデータ）  
医療機関や日常生活で発生する多様な健康データを適切に収集・蓄積・分析できるよう学びます。



## 履修モデル IoT/SE (情報)



区分		教養教育科目		専門教育科目
年次	学期	共通コア科目	共通選択科目	専門基礎科目
4年次	後期			
	前期			
3年次	後期			
	前期			体力・健康測定と評価
2年次	後期		心理学 国際学入門	データベース基礎 公衆衛生学
	前期		アカデミック英語基礎	国際ネットワーク論 栄養学
1年次	後期	教養演習Ⅱ 大学と人生 体育実技Ⅱ(1)	イングリッシュ・コミュニケーション 憲法	コンピュータ概論 データサイエンス概論 プログラミング基礎 医療概論及び人体構造・機能 健康情報統計Ⅰ 医療管理総論
	前期	教養演習Ⅰ コンピュータ・リテラシー アカデミックライティングⅠ 数理・データサイエンス・AI入門 体育実技Ⅰ(1) 科学入門 沖縄学	ベーシック・イングリッシュ 情報科学と社会	健康情報数学Ⅰ ウェルネス概論
合計		18	14	26

※開講時期(前期・後期)は変わる場合があります。(2022年11月の情報をもとに作成)

※各科目の基本単位数は2単位です。2単位以外の科目は、科目名(単位数)で表しています。

※ で囲まれた科目は、健康情報学科必修科目です。

専門教育科目			単位数
専門発展科目	専門応用科目	専門総合科目	
		健康情報専門演習Ⅱ (4)	4
	経営分析論	健康情報専門演習Ⅰ (4)	6
産業情報論 アルゴリズム論 パターン認識 自然言語処理	市場調査論	健康情報演習Ⅱ (PBL) 健康情報特別講義Ⅰ	14
インターネットと法 ネットワーク技術Ⅱ システム設計論 データベース演習 システム開発技術	簿記原理(4) マーケティング論	健康情報演習Ⅰ (PBL)	20
ネットワーク技術Ⅰ 情報処理論 プログラミング応用演習 ウェブコンテンツ実践 ネットワークの構築と運用 AI・データサイエンスⅡ			20
ウェブデザイン データ処理入門 情報化社会論 プログラミング応用 情報と職業 AI・データサイエンスⅠ			18
			21
			21
42	10	14	124

# 履修モデル DS (データサイエンス)



区分		教養教育科目		専門教育科目
年次	学期	共通コア科目	共通選択科目	専門基礎科目
4年次	後期			
	前期			
3年次	後期			
	前期			国際ネットワーク論 体力・健康測定と評価
2年次	後期		心理学	公衆衛生学 データベース基礎 コンピュータ・グラフィックス 疫学 食育と健康
	前期		アカデミック英語基礎 経済学	栄養学
1年次	後期	教養演習Ⅱ 大学と人生 沖縄学	イングリッシュ・コミュニケーション 国際学入門	コンピュータ概論 データサイエンス概論 プログラミング基礎 医療概論及び人体構造・機能 健康情報統計Ⅰ
	前期	教養演習Ⅰ アカデミックライティングⅠ コンピュータ・リテラシー 数理・データサイエンス・AI入門 健康・スポーツ科学 科学入門	ベーシック・イングリッシュ 情報科学と社会	健康情報数学Ⅰ ウェルネス概論
合計		18	14	30

※開講時期（前期・後期）は変わる場合があります。（2022年11月の情報をもとに作成）  
 ※各科目の基本単位数は2単位です。2単位以外の科目は、科目名（単位数）で表しています。  
 ※で囲まれた科目は、健康情報学科必修科目です。

専門教育科目			単位数
専門発展科目	専門応用科目	専門総合科目	
		健康情報専門演習Ⅱ (4)	4
		健康情報専門演習Ⅰ (4)	4
産業情報論 アルゴリズム論 パターン認識 画像処理 自然言語処理 人工知能		健康情報演習Ⅱ (PBL) 健康情報特別講義Ⅰ	16
インターネットと法 システム設計論 情報セキュリティ	社会心理学 観光行動論 地域マーケティング論 経営戦略論	健康情報演習Ⅰ (PBL)	20
健康情報統計Ⅲ AI・データサイエンスⅡ 健康ビッグデータ デジタルヘルスコミュニケーション			20
プログラミング応用 データ処理入門 情報化社会論 AI・データサイエンスⅠ 社会調査法 健康情報数学Ⅱ 健康情報統計Ⅱ			20
			20
			20
40	8	14	124

# 履修モデル HIM (ヘルスデータ)



区 分		教養教育科目		専門教育科目
年次	学期	共通コア科目	共通選択科目	専門基礎科目
4年次	後期			
	前期			
3年次	後期			データベース基礎
	前期			体力・健康測定と評価
2年次	後期	沖縄学 科学入門	経済学	公衆衛生学
	前期		アカデミック英語基礎 心理学	保健医療情報学
1年次	後期	教養演習Ⅱ 大学と人生 体育実技Ⅱ(1)	イングリッシュ・コミュニケーション 国際学入門	コンピュータ概論 データサイエンス概論 プログラミング基礎 医療概論及び人体構造・機能 健康情報統計Ⅰ 医療管理総論
	前期	教養演習Ⅰ アカデミックライティングⅠ コンピュータ・リテラシー 数理・データサイエンス・AI入門 体育実技Ⅰ(1)	ベーシック・イングリッシュ 情報科学と社会	健康情報数学Ⅰ ウェルネス概論
合 計		18	14	24

※開講時期(前期・後期)は変わる場合があります。(2022年11月の情報をもとに作成)  
 ※各科目の基本単位数は2単位です。2単位以外の科目は、科目名(単位数)で表しています。  
 ※ で囲まれた科目は、健康情報学科必修科目です。

専門教育科目			単位数
専門発展科目	専門応用科目	専門総合科目	
		健康情報専門演習Ⅱ (4)	4
		健康情報専門演習Ⅰ (4)	4
デジタルヘルスコミュニケーション 産業情報論 健康ビッグデータ		健康情報特別講義Ⅰ	10
デジタルヘルステクノロジー 経営情報論 医療・生命情報学Ⅰ 国際統計分類Ⅱ 臨床医学各論Ⅲ 臨床医学各論Ⅳ	地域マーケティング論 社会心理学	病院実務Ⅱ (1) 病院実務Ⅲ (4)*	23
AI・データサイエンスⅡ 医療統計学 国際統計分類Ⅰ 診療情報管理論Ⅱ 臨床医学各論Ⅰ 臨床医学各論Ⅱ			20
AI・データサイエンスⅠ データ処理入門 医療管理各論 臨床医学総論及び医療用語 診療情報管理論Ⅰ 社会調査法	マーケティング論	病院実務Ⅰ (1)*	21
			21
	簿記原理 (4)		21
42	10	16	124

※ \* は集中講義を表しています。

※ アンダーラインは診療情報管理士認定試験受験必修科目です。



## ① 高等学校教諭一種免許状（情報）

2025年度の大学入学共通テストでは新科目として「情報」が加わる等、情報教育分野には大きな注目が集まっており、指定された教職課程の単位を修得すると、卒業時に免許状を取得できます。

教職に関する科目は、p231別表9及び別途配布される『教職課程の手引き』を参照し履修計画を立てる必要がある。

## ② 社会福祉主事任用資格

指定された科目から3つ以上の単位を修得すると任用資格が得られ、任用資格を取得した後、地方公務員試験に合格し、福祉事務所に配属されてはじめて「社会福祉主事」を名乗ることができます。

★本学科で修得できる科目

社会学、心理学、社会調査法、教育学、経済学、法学、公衆衛生学、栄養学、社会福祉概論

## ③ 診療情報管理士受験資格

大学病院・総合病院などに勤務し、診療情報をデータベース化したり、統計資料を作成したりする専門資格。診療情報管理士課程の単位を修得すると、認定試験の受験資格が得られ、認定試験に合格すると診療情報管理士の資格が卒業と同時に得られます。

健康情報学科では、一般社団法人日本病院会認定の「診療情報管理士」の課程を設置し、その受験資格を取得することができます。※詳細は下記参照

## 診療情報管理士とは

「診療情報管理士」とは、医療機関における患者の様々な診療情報を中心に人の健康（health）に関する情報を国際統計分類等に基づいて収集・管理し、データベースを抽出・加工・分析し、様々なニーズに適した情報を提供する専門職種です。

診療情報管理士は、日本病院会通信教育及び日本病院会認定専門学校、大学にて統一されたカリキュラムで養成されており、四病院団体協議会（日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会）及び医療研修推進財団の共同で認定された資格です。診療情報管理士認定者は、2022年現在、43,000人を超え、医療の安全管理や病院の経営管理に寄与する高い専門性とスキルを必要とする職種として活躍しています。

診療情報管理士は、諸外国ではHealth Information Manager（HIM）と呼ばれ、近年、多くの国々でも育成が進んでいます。

わが国においても、医療機関におけるデータ管理と活用は医療の質の評価と適切な医療政策の構築のために必須のものとなっています。診療報酬上においても診療録管理体制加算が導入され、病院機能評価などへの関与が求められ、診療報酬支払制度（DPC/PDPS〈診断群分類包括支払制度〉）、がん登録推進法、医療事故調査制度など診療情報管理士が関係する重要な制度も多く、今後のさらなる活躍が期待されています。

今後、国民の健康情報はさらに多くの情報管理が行われ活用も拡大することは必至であり、日本診療情報管理学会では診療情報管理士を対象にレベルアップした人材として「診療情報管理士指導者」の認定を行っています。（引用：一般社団法人日本病院会ホームページより）

## 受験資格取得の対象となる学生

- (1) 「診療情報管理士」受験資格取得に必要な科目を修得した学生。（本学を卒業した学生を含む。）  
 ※カリキュラム（科目一覧）と受験資格取得に必要な単位数については、p140の表1を参照すること。

## 認定試験受験から認定証交付までの流れ

- (1) 3年次受験の場合  
 3年次前期終了後、認定試験申込時（10月）に必修17科目（病院実務Ⅲを含む）を履修済みの学生は、①10月に認定試験の申込み、②翌年2月に受験、③3月に合否判定後、合格通知書が送付される。  
 診療情報管理士認定は、診療情報管理士認定試験合格と、大学卒業が条件となっているので、4年次卒業まで合格通知を各自保管する。診療情報管理士認定証の交付は、受験年の翌年3月卒業確定後（一社）日本病院会へ申請し授与される。※休学等による認定証申請時期の延長は認められていない。
- (2) 4年次受験の場合  
 4年次前期終了後、認定試験申込時（10月）に必修17科目（病院実務Ⅲを含む）を履修済みの学生は、①10月に認定試験の申込み、②翌年2月に受験、③3月に合否判定後、合格通知書が送付される。  
 診療情報管理士認定は、診療情報管理士認定試験合格と、大学卒業が条件となっている。診療情報管理士認定証の交付は、受験年の3月卒業確定後（一社）日本病院会へ申請し授与される。※休学等による認定証申請時期の延長は認められていない。

- ※1年次より受験資格修得に必要な科目を履修した学生は、早くて3年次に受験することができます。  
 ※2年次より受験資格修得に必要な科目を履修した学生は、早くて4年次に受験することができます。

## 診療情報管理士取得に係る受験費用及び認定交付費用

- (1) 認定試験の受験費用は下記のとおりです。（下記の金額は、受験費用として申請者が日本病院会に支払います。）

試験名称	対象学生	受験費用	備考
診療情報管理士認定試験	健康情報学科に所属する学生	10,000円	(一社)日本病院会が指定する科目を履修済みの学生

※上記金額については、申請時に変更となる場合もある。

- (2) 本件の称号が得られる学生及び認定証交付費用は以下のとおりです。(下記の金額は、認定証交付費用として申請者本人が日本病院会に支払います。)

称 号	対象学生	認定証交付費用	備 考
診療情報管理士	診療情報管理士 認定試験合格者	30,000円	

※上記金額については、申請時に変更となる場合もある。

## 受験日

2月中旬

参考) 2023年度 申し込みから合格発表までの日程

受付期間：2023年9月1日～10月31日

試 験 日：2024年2月11日

合否発表：2024年3月22日

## 試験方法

診療情報管理士として必要な知識・技能について、基礎・専門の各分野について試験を行われます。試験は、原則として多肢選択方式で出題されます。

## 留意事項

本資格（「診療情報管理士」）の認定証交付条件は、認定試験合格と大学卒業が条件となります。（3年次に認定試験合格しても、卒業後に認定証交付となります。）

申請年度に本資格（「診療情報管理士」）卒業対象者の卒業判定（卒業年度の3月上旬頃実施）に「不合格」となった場合、資格申請は取り下げとなり、交付費用の返還はできませんので、そのことを承知の上で申請申込を行ってください。文中の日程や費用については、2023年11月現在の情報を基に作成しています。

表 1 診療情報管理士課程

診療情報管理士課程 (最低修得単位数)	授業科目名	単位数	備 考
必修科目 (34)	診療情報管理論 I	2	【受験資格を取得する要件】 診療情報管理士課程における必修単位数 (34単位) を修得済みであること。
	臨床医学総論及び医療用語	2	
	医療概論及び人体構造・機能	2	
	臨床医学各論 I	2	
	医療管理総論	2	
	医療管理各論	2	
	保健医療情報学	2	
	医療統計学	2	
	臨床医学各論 II	2	
	臨床医学各論 III	2	
	臨床医学各論 IV	2	
	診療情報管理論 II	2	
	国際統計分類 I	2	
	国際統計分類 II	2	
	病院実務 I	1	
	病院実務 II	1	
	病院実務 III	4	